

転職サービス「doda」、「平均年収ランキング 2025」を発表 正社員の平均年収は429万円で、2022年以降3年連続で上昇 ～前年から3万円アップ、2017年以降、過去8年間で最高値～

パーソルキャリア株式会社が運営する転職サービス「doda（デュータ）」（編集長：桜井 貴史）は、「平均年収ランキング 2025」を発表しましたので、お知らせします。本調査は、2024年9月～2025年8月の1年間に doda サービスに登録した約60万人のデータを元に、正社員としてはたらく20歳～65歳までのビジネスパーソンの平均年収をまとめたものです。

【調査結果詳細】

「平均年収ランキング 2025」



【主な調査結果】

- ・2025年の平均年収は429万円で、前年から3万円アップ
2017年以降、過去8年間で最高値。2023年から3年連続で上昇。
- ・職種別で見ると、1位は3年連続「医師」で1,063万円
職種分類ではトップ10のうち、「専門職（コンサルティングファーム／専門事務所／監査法人）」の分類が5つを占める。
- ・業種別で見ると、1位は「投信／投資顧問」で814万円
業種分類ではトップ10のうち、「金融」に分類される業種が4つランクイン。
- ・年代別に見ると、前年から20代は5万円、30代は3万円アップ、40代は2万円、50代以上は6万円ダウン。
- ・都道府県別に見ると、47都道府県のうち28都府県で年収アップ。トップ4を関東の都県が占める。

doda編集長 解説

賃上げの機運の高まりを背景に賃金アップに力を入れる企業が増加しています。厚生労働省による助成金の拡充^{※1}や、物価高騰対策として中小企業の賃上げを促す方針^{※2}を示すなど、政府の支援策も後押しとなり、2025年の平均年収は429万円と、3年連続で上昇しました。

一方で、物価高による将来への不安から転職を検討する人も少なくありません。実際に「doda」が2024年2月に発表した「[転職理由ランキング（2024年）](#)」によれば、「給与が低い・昇給が見込めない」が4年連続で転職理由の1位でした。自身のはたらく環境や給与・待遇を振り返り、「昇給の見込みが乏しい企業に留まるよりも、転職によって待遇改善を図りたい」と考えた方も多いのではないのでしょうか。

年収アップを叶えるためには、中長期的に年収を高める視点やそのために自分の市場価値をどう高めるかといった視点、キャリアの棚卸しを通じて自身の市場価値を知ることなどが重要です。自分のキャリアを主体的に切り開いていく「キャリアオーナーシップ人材」が今後ますます社会に求められていくと考えられます。

※1:厚生労働省：「賃上げ」支援助成金パッケージより

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/package_00007.html)

※2:厚生労働省：2025年9月 報道発表資料

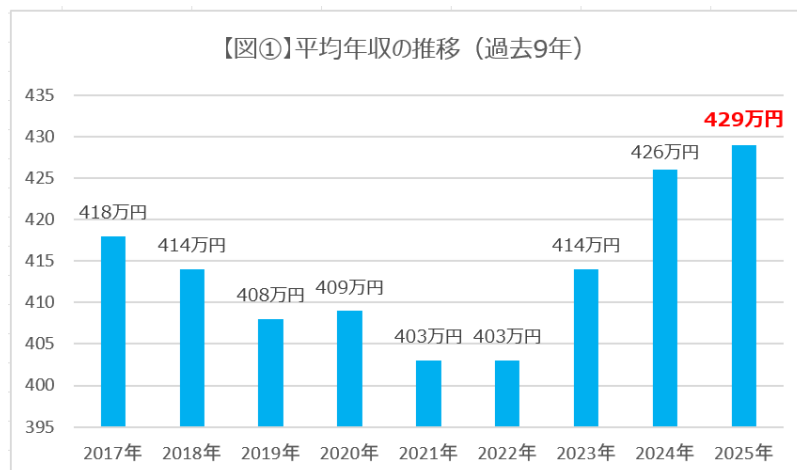
(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_63127.html)

全体：2025年の平均年収は429万円で、前年から3万円アップ

新型コロナによる経済的影響で平均年収の減少傾向が続いた2021年と2022年でしたが、2023年以降は3年連続で上昇を続けています。2025年の平均年収は429万円となり、2017年以降では過去最高額を記録しました。【図①】

男女別では、男性は487万円で前年から6万円、女性は370万円で4万円アップしました。

年収中央値で見ても、全体で384万円となり、前年から4万円アップ。男女別の年収中央値は、男性は430万円、女性は350万円で、どちらも10万円アップという結果になりました。



転職サービス「doda」、「平均年収ランキング2025」（2025.12）

職種別：1位は3年連続「医師」で1,063万円。職種分類ではトップ10のうち、「専門職（コンサルティングファーム／専門事務所／監査法人）」の分類が4つを占める

全176職種の平均年収ランキング1位は、「技術系（メディカル／化学／食品）」に分類される「医師」（1,063万円）でした。2位は「投資銀行業務」（932万円）、3位は「運用（ファンドマネジャー／ディーラー）」（842万円）が続きました。特に「投資銀行業務」は前年よりも109万円アップ、「会計コンサルタント／財務アドバイザー」（640万円）も74万円アップと、全職種の中でも特に伸びが目立ちました。

職種分類別で見ると、トップ10に最も多くランクインしたのは「専門職（コンサルティングファーム／専門事務所／監査法人）」でした。【表①】

【表①職種別平均年収ランキング 上位50位】

順位	職種分類	職種	平均年収	前回 平均年収	差分	増減
1	医師	技術系（メディカル／化学／食品）	1063万円	1089万円	-26万円	↓
2	投資銀行業務	金融系専門職	932万円	823万円	109万円	↑
3	運用（ファンドマネジャー／ディーラー）	金融系専門職	842万円	873万円	-31万円	↓
4	弁護士	専門職（コンサルティングファーム／専門事務所／監査法人）	835万円	838万円	-3万円	↓
5	MR	営業系	803万円	764万円	39万円	↑
6	内部監査	企画／管理系	753万円	742万円	11万円	↑
7	業務改革コンサルタント（BPR）	専門職（コンサルティングファーム／専門事務所／監査法人）	738万円	706万円	32万円	↑
8	戦略／経営コンサルタント	専門職（コンサルティングファーム／専門事務所／監査法人）	730万円	751万円	-21万円	↓
9	知的財産／特許	企画／管理系	723万円	682万円	41万円	↑
10	内部統制	企画／管理系	716万円	663万円	53万円	↑
10	リスクコンサルタント	専門職（コンサルティングファーム／専門事務所／監査法人）	716万円	732万円	-16万円	↓
12	法務	企画／管理系	710万円	683万円	27万円	↑
13	プロジェクトマネジャー	技術系（IT／通信）	707万円	693万円	14万円	↑
14	経営企画／事業企画	企画／管理系	703万円	686万円	17万円	↑
14	金融商品開発	金融系専門職	703万円	734万円	-31万円	↓
16	学術／DI	技術系（メディカル／化学／食品）	670万円	—	—	—
17	管理会計	企画／管理系	666万円	623万円	43万円	↑
17	会計専門職／会計士	専門職（コンサルティングファーム／専門事務所／監査法人）	666万円	634万円	32万円	↑
19	病院長／事務長	技術系（メディカル／化学／食品）	653万円	—	—	—
20	セキュリティコンサルタント／アナリスト	技術系（IT／通信）	649万円	616万円	33万円	↑
21	プリセールス	技術系（IT／通信）	642万円	666万円	-24万円	↓
22	会計コンサルタント／財務アドバイザー	専門職（コンサルティングファーム／専門事務所／監査法人）	640万円	566万円	74万円	↑
23	財務	企画／管理系	630万円	606万円	24万円	↑
24	弁理士／特許技術者	専門職（コンサルティングファーム／専門事務所／監査法人）	617万円	669万円	-52万円	↓
25	プロジェクトマネジメント	技術系（電気／電子／機械）	616万円	594万円	22万円	↑
26	IT戦略／システム企画	技術系（IT／通信）	614万円	606万円	8万円	↑
27	医薬品開発薬事	技術系（メディカル／化学／食品）	610万円	616万円	-6万円	↓
27	先行開発／製品企画	技術系（電気／電子／機械）	610万円	603万円	7万円	↑
29	データアナリスト／データサイエンティスト	企画／管理系	607万円	612万円	-5万円	↓
30	組織／人事コンサルタント	専門職（コンサルティングファーム／専門事務所／監査法人）	605万円	598万円	7万円	↑
31	営業企画	企画／管理系	601万円	587万円	14万円	↑
31	ITコンサルタント	技術系（IT／通信）	601万円	598万円	3万円	↑
31	製剤研究	技術系（メディカル／化学／食品）	601万円	566万円	35万円	↑
34	営業－医薬品メーカー	営業系	593万円	552万円	41万円	↑
35	研究開発	技術系（IT／通信）	587万円	576万円	11万円	↑
36	デバイス開発	技術系（電気／電子／機械）	572万円	—	—	—
37	購買	企画／管理系	570万円	540万円	30万円	↑
38	回路／システム設計	技術系（電気／電子／機械）	569万円	565万円	4万円	↑
38	融資／契約審査	金融系専門職	569万円	544万円	25万円	↑
40	バックオフィス／ミドルオフィス	金融系専門職	566万円	551万円	15万円	↑
41	臨床開発／治験	技術系（メディカル／化学／食品）	564万円	563万円	1万円	↑
42	設計（プラント）	技術系（建築／土木）	562万円	562万円	0万円	→
43	リサーチ／市場調査	企画／管理系	560万円	—	—	—
44	CAE解析	技術系（電気／電子／機械）	554万円	537万円	17万円	↑
45	マーケティング	企画／管理系	550万円	541万円	9万円	↑
46	経理	企画／管理系	549万円	533万円	16万円	↑
46	人事	企画／管理系	549万円	533万円	16万円	↑
48	技術開発／工法開発（建築／土木）	技術系（建築／土木）	545万円	548万円	-3万円	↓
49	研究	技術系（メディカル／化学／食品）	540万円	—	—	—
50	データサイエンティスト	技術系（IT／通信）	539万円	556万円	-17万円	↓

転職サービス「doda」、「平均年収ランキング2025」（2025.12）

業種別：1位は「投信／投資顧問」で814万円。業種分類ではトップ10に、「金融」が4つランクイン

全97業種の平均年収ランキング1位は「投信／投資顧問」（814万円）。2位は「たばこ」（759万円）で、前年から31万円のダウンとなったものの順位を1つ上げています。3位は「ベンチャーキャピタル／プライベートエクイティ」（724万円）でした。5位「証券会社」（609万円）、7位「信託銀行」（607万円）も含めると、トップ10のうち「金融」に分類される業種が4つを占めており、昨年から続く活況なマーケット状況などが影響したものと考えられます。

トップ20でも、最も多くランクインしたのは「金融」に分類される7業種です。【表②】

【表②業種別平均年収ランキング 上位50位】

順位	業種分類	業種	平均年収	前回 平均年収	差分	増減
1	投信／投資顧問	金融	814万円	800万円	14万円	↑
2	たばこ	メーカー	759万円	790万円	-31万円	↓
3	ベンチャーキャピタル／プライベートエクイティ	金融	724万円	816万円	-92万円	↓
4	医薬品メーカー	メディカル	684万円	676万円	8万円	↑
5	証券会社	金融	609万円	620万円	-11万円	↓
6	トイレタリー	メーカー	608万円	606万円	2万円	↑
7	信託銀行	金融	607万円	611万円	-4万円	↓
8	財務／会計アドバイザー（FAS）	サービス	595万円	622万円	-27万円	↓
9	総合電機メーカー	メーカー	593万円	559万円	34万円	↑
10	診断薬／臨床検査機器／臨床検査試薬メーカー	メディカル	586万円	563万円	23万円	↑
10	医療機器メーカー	メディカル	584万円	586万円	-2万円	↓
12	バイオ関連	メディカル	567万円	545万円	22万円	↑
13	都市銀行	金融	567万円	557万円	10万円	↑
14	医療広告代理店／出版社／マーケティング／リサーチ	メディカル	560万円	550万円	10万円	↑
14	リース	金融	546万円	538万円	8万円	↑
16	コンサルティングファーム／シンクタンク	サービス	546万円	534万円	12万円	↑
17	損害保険	金融	524万円	515万円	9万円	↑
17	自動車／輸送機器メーカー	メーカー	523万円	504万円	19万円	↑
19	ディベロッパー	建設／プラント／不動産	520万円	511万円	9万円	↑
20	電子／電気部品メーカー	メーカー	517万円	498万円	19万円	↑
21	不動産金融	建設／プラント／不動産	516万円	500万円	16万円	↑
22	CRO／SMO／CSO	メディカル	512万円	517万円	-5万円	↓
23	医療コンサルティング	メディカル	509万円	490万円	19万円	↑
24	化学メーカー	メーカー	509万円	506万円	3万円	↑
25	マーケティング／リサーチ	サービス	507万円	486万円	21万円	↑
26	機械／電気機器メーカー	メーカー	507万円	495万円	12万円	↑
27	クレジット／信販	金融	506万円	486万円	20万円	↑
27	ITコンサルティング	IT／通信	505万円	494万円	11万円	↑
29	消費者金融	金融	504万円	482万円	22万円	↑
30	住宅ローン	金融	503万円	454万円	49万円	↑
31	ハードウェア／ソフトウェア／パッケージベンダ	IT／通信	493万円	486万円	7万円	↑
31	鉄鋼／金属メーカー	メーカー	489万円	474万円	15万円	↑
31	ゲーム／アミューズメント機器メーカー	メーカー	481万円	472万円	9万円	↑
34	エネルギー（電力／ガス／石油／新エネルギー）	サービス	481万円	474万円	7万円	↑
35	システムインテグレータ	IT／通信	481万円	475万円	6万円	↑
36	総合商社	総合商社	479万円	472万円	7万円	↑
37	ゼネコン／サブコン	建設／プラント／不動産	475万円	475万円	0万円	→
38	スポーツ／アウトドア用品	メーカー	475万円	467万円	8万円	↑
38	地方銀行	金融	473万円	456万円	17万円	↑
40	大学／研究施設	メディカル	472万円	474万円	-2万円	↓
41	生命保険	金融	461万円	448万円	13万円	↑
42	香料	メーカー	458万円	485万円	-27万円	↓
43	医療機器卸	メディカル	456万円	—	—	—
44	住宅設備／建材メーカー	メーカー	456万円	443万円	13万円	↑
45	土地活用	建設／プラント／不動産	455万円	456万円	-1万円	↓
46	ネット広告／Webマーケティング	インターネット／広告／メディア	454万円	446万円	8万円	↑
46	代理店（広告／SP／PR）	インターネット／広告／メディア	453万円	450万円	3万円	↑
48	住宅（ハウスメーカー）	建設／プラント／不動産	452万円	449万円	3万円	↑
49	食品／飲料／化粧品メーカー	メーカー	449万円	—	—	—
50	紙／パルプメーカー	メーカー	447万円	—	—	—

転職サービス「doda」、「平均年収ランキング2025」（2025.12）

年代別：前年から20代は5万円アップ、30代は3万円アップ、40代は2万円、50代以上は6万円ダウン

2025年の年代別の平均年収は「20代」が365万円、「30代」が454万円、「40代」が517万円、「50代以上」が601万円でした。【表③】男女別に見ると50代以上を除くすべての年代で前年よりも平均年収がアップしました。

【表③年代・男女別平均年収ランキング】

	平均年収		
	全体	男性	女性
20代	365万円 (360万円)	392万円 (385万円)	341万円 (337万円)
30代	454万円 (451万円)	510万円 (504万円)	393万円 (390万円)
40代	517万円 (519万円)	604万円 (601万円)	421万円 (420万円)
50代	601万円 (607万円)	679万円 (680万円)	441万円 (442万円)

※（ ）は昨年平均年収

転職サービス「doda」、「平均年収ランキング2025」（2025.12）

都道府県別：47都道府県のうち28都府県で年収アップ。トップ4を関東の都県が占める

47都道府県のうち、最も平均年収が高い都道府県は、「東京都」（476万円）で、トップ4を関東の都県が占めました。2024年よりも平均年収が増加したのは28都府県、変化なしが8道県、減少したのは11県でした。最も上昇幅が大きかったのは13万円アップの「富山県」と「青森県」で、次いで11万円アップの「徳島県」が続きました。【表④】

7つのエリア別に見ても、すべてのエリアで平均年収は増加しています。上昇幅が大きい順に、「関東」「関西」（4万円アップ）、「東海」「北信越」（3万円アップ）、「中国・四国」「北海道・東北」「九州・沖縄」（2万円アップ）となりました。

【表④都道府県別平均年収ランキング】

順位	都道府県	平均年収	前回 平均年収	差分	増減
1	東京都	476万円	471万円	5万円	↑
2	神奈川県	456万円	452万円	4万円	↑
3	千葉県	440万円	435万円	5万円	↑
4	埼玉県	426万円	426万円	0万円	→
5	愛知県	420万円	418万円	2万円	↑
6	茨城県	419万円	424万円	-5万円	↓
7	静岡県	415万円	407万円	8万円	↑
7	滋賀県	415万円	415万円	0万円	→
7	兵庫県	415万円	414万円	1万円	↑
10	栃木県	413万円	415万円	-2万円	↓
11	大阪府	411万円	407万円	4万円	↑
12	三重県	408万円	404万円	4万円	↑
12	奈良県	408万円	402万円	6万円	↑
14	京都府	404万円	402万円	2万円	↑
15	岐阜県	400万円	400万円	0万円	→
15	富山県	400万円	387万円	13万円	↑
17	山梨県	399万円	392万円	7万円	↑
18	群馬県	396万円	395万円	1万円	↑
18	広島県	396万円	393万円	3万円	↑
18	山口県	396万円	399万円	-3万円	↓
20	長野県	395万円	393万円	2万円	↑
22	石川県	394万円	394万円	0万円	→
23	福井県	393万円	395万円	-2万円	↓
24	福岡県	391万円	386万円	5万円	↑
25	和歌山県	389万円	380万円	9万円	↑
25	香川県	389万円	388万円	1万円	↑
27	徳島県	387万円	376万円	11万円	↑
28	北海道	386万円	386万円	0万円	→
28	宮城県	386万円	379万円	7万円	↑
30	青森県	384万円	371万円	13万円	↑
31	福島県	383万円	385万円	-2万円	↓
32	岡山県	382万円	385万円	-3万円	↓
32	愛媛県	382万円	381万円	1万円	↑
34	長崎県	379万円	386万円	-7万円	↓
35	島根県	378万円	371万円	7万円	↑
35	熊本県	378万円	378万円	0万円	→
37	秋田県	374万円	371万円	3万円	↑
37	山形県	374万円	370万円	4万円	↑
37	佐賀県	374万円	369万円	5万円	↑
37	宮崎県	374万円	375万円	-1万円	↓
41	岩手県	371万円	373万円	-2万円	↓
41	鳥取県	371万円	364万円	7万円	↑
41	大分県	371万円	377万円	-6万円	↓
43	新潟県	368万円	368万円	0万円	→
43	鹿児島県	368万円	368万円	0万円	→
46	高知県	364万円	355万円	9万円	↑
47	沖縄県	355万円	359万円	-4万円	↓

転職サービス「doda」、「平均年収ランキング2025」（2025.12）

【解説者プロフィール】

doda編集長 桜井 貴史（さくらい・たかふみ）

新卒で大手人材会社に入社し、一貫して国内外の学生のキャリア教育や就職・転職、幅広い企業の採用支援事業に携わる。2016年11月、パーソルキャリア株式会社に中途入社。同年、株式会社ベネッセホールディングスとの合併会社、株式会社ベネッセi-キャリアに出向、新卒オファースサービス「dodaキャンパス」の立ち上げを牽引し、初代dodaキャンパス編集長に。その後、同社 商品サービス本部 本部長として、キャリア講座やアセスメントをはじめとした、大学生向けサービスの責任者を務める。2023年4月、doda副編集長 兼 クライアントP&M本部 プロダクト統括部 エグゼクティブマネジャーに就任し、法人向け採用支援プロダクト全体を管掌。2024年4月、doda編集長に就任。サービスを通じてこれまで60万人以上の若者のキャリア支援に携わり、Z世代の就職・転職動向やキャリア形成、企業の採用・育成手法に精通している。



【調査概要】

【対象者】2024年9月～2025年8月末までの間に、dodaサービスにご登録いただいた20～65歳の男女

【雇用形態】正社員

【有効回答数】約60万件

※平均年収：手取りではなく支給額

※順位算出：平均年収（万円）の整数で順位づけ

【出典の明記について】

本データを引用・転載する際は、以下の情報を必ず記載してください。Webメディアで掲載する際は、「doda」にはdodaトップページ、記事タイトルには記事URLへのリンクを設定してください。

記載例)

出典：転職サービス「doda」 - 「平均年収ランキング2025」

※「doda」 = <https://doda.jp/>

※「平均年収ランキング2025」 = <https://doda.jp/guide/heikin/>

■ 転職サービス「doda」について < <https://doda.jp/> >

「doda」は、「はたらく今日が、いい日に。」をスローガンに、転職サイトや転職エージェント、日本最大級の doda 転職フェアなど、各種コンテンツで転職希望者と求人企業の最適なマッチングを提供しています。